

変容

東と西の間において、ヨーロッパの霊的課題 広島と長崎への原爆投下から 66 年を記して。

日本に 2 度の原爆が投下された、まさにその時に、スコットランド北部では医師カール・ケーニッヒ（ユダヤ系ヨーロッパ人亡命者）が、医師そして芸術の国際会議を催していました。カール・ケーニッヒは 2 度の戦争で破壊されてしまったヨーロッパの霊的課題について語りました。ゲーテによって特に示された、芸術と科学と宗教の、新しく結びつく道は閉ざされてしまったのです。

新しいキリスト理解が科学を（とりわけ医学が！）、新しい倫理観で満たし、社会へ働きかける芸術が、現代の断絶した個人を結びつけること。これらが中部ヨーロッパが人類に果たすべきであった課題であり、今日なお、若い人々のイニシアチブを待っているのです。

カール・ケーニッヒの治療教育とソーシャルセラピーの活動は、とりわけ社会状況に対する具体的な貢献として行われたものですが、世界的な運動に成長しました。

2011 年 - 1945 年から 66 年後

私たちがヨーロッパにおいて、いかに活動を集中させていくべきかを考えているときに、日本の南部では、カール・ケーニッヒのキャンプヒル運動を共にしたいと、小さなイニシアチブが生まれました。カール・ケーニッヒが晩年を過ごした地、ボーデン湖畔ではヨーロッパの課題に関し、ゲーテとカール・ケーニッヒの研究が取り上げられ、その後日本の大分で会議が続けられます。大分はチェルノブイリの事故当時、反原発運動の中心地のひとつでした。

震災と原発事故が世界を震撼させるずっと以前から、会議の準備は行われていました。今や私たちの企画は、まるで承認されたかのようです。

会議日程：

2011 年 8 月 7 日から 13 日まで キャンプヒル・フューレンビュール

88633 Heiligenberg-Steigen, Heimsonderschule Föhrenbühl

8 月 22 日から 28 日まで 日本の大分にて

協力：

Dr. T. Feuchtinger, Dr. Yuka Ishiguro, I. Klotz, Dr. G. Merker, Satoru Miyanari,

M.Schneider, Dr. S. Sebastian, R. Steel, Überlinger Lehr und Wanderbühne

主催：

カール・ケーニッヒ協会 ベルリン

<http://www.karl-koenig-institute.net/>

問い合わせ、受け入れ窓口：

イマヌエル・クロッツ Sentenharter Str. 26, D 78355 Hohenfels

Tel: + 49 (0)7557 – 929303

E-Mail: imklotz@web.de Richard Steel, または E-Mail: r.steel@karl-koenig-archive.net

大分での会議について：

宮成 諭、クリステル 〒879-7401 大分県豊後大野市千歳町新殿433

E-Mail: satorumiyanari@hotmail.com

フューレンビュールでの宿泊または個人宅宿泊：12€ 他近隣のホテルあり

フューレンビュールでの食事代：15€

会議参加費：250.00€ （学生 175.00€）

振込先：

Volksbank Uberlingen

BLZ 690 618 00

Konto Nr. 11051316,

または：

"Karl Konig Archiv"

GLS-Bank Bochum

BLZ 430 609 67

Konto 13042010

振込みの際は以下の記入を願います：

"Karl Konig Archiv, Goethe, Karl Konig, Erstes Goetheanum".